

## 戦前の図書館統制と図書館の自由

戦前、長野県でも警察官が図書館に臨検し  
左翼の出版物を没収するということが起きました。  
一方、中央図書館制の下、県立図書館等は戦意高揚を図る図書等の紹介を行いました。  
戦後、図書館は国民の知る自由を妨げたことを反省し、  
「図書館の自由に関する宣言」を採択しています。  
下記により戦前の図書館統制と図書館の自由に関する研修会を開催します。  
公共図書館の館長はじめ職員の皆さま、ぜひご参加ください。

1. 日時 平成30年9月15日(土) 13:30~16:30
2. 会場 伊那市創造館  
伊那市荒井3520 TEL 0265-72-6220
3. 見学 昭和の図書館(展示室)
4. 講座1 戦前の出版警察体制と図書館との関係について  
牧 義之 長野県短期大学助教。専門は日本近現代文学、近代出版メディア史。  
特に、戦前・戦中期の検閲制度が文学の生成に与えた影響を考察している。
5. 講座2 図書館の自由について ~松本サリン事件の体験から~  
手塚英男 長野県図書館協会顧問。元松本市中央図書館長。生涯学習実践者で紙芝居「ぼくらは開智国民学校一年生」を上演している。著書多数
6. 参加費 無料

\*研修会終了後、懇親会を予定しています。(希望者のみ。館長あてには別途ご案内します。)

◆申込み 下記にご記入の上 FAX またはメールしてください。しめきり 9月13日(木)

FAX 026-217-9202 MAIL nla@nagano-la.com

### ステップアップ研修 No.7 申込書

氏名	所属	電話番号

\*すでに申し込み済みの方は改めて申し込む必要はございません。